

常任委員会審査から

審査等の過程で特に議論となった点について、委員長報告の要旨を掲載

全文は市議会ホームページに掲載しています。

総務委員会

■地域に入って事業を推進

－中山間・周辺地域を対象に、持続可能な地域づくりを目指し、地域課題の解決に取り組むための活動を支援する「地域の未来づくり推進事業補助金」－

委員 ●平成30年度の予算がほとんど執行できなかったのは、周知が足りなかったからでは。

市 ●平成30年7月豪雨の影響で事業が後ろ倒しになった。31年度は着実に実行していきたい。

委員 ●市民はまだまだ活用しにくいと思っている。参加しやすいシステムを構築できたのか。

市 ●本市職員が地域に入り、地域の声を聞きながら事業を進めている。今後もこうした取り組みを継続して進めたい。

保健福祉委員会

■生活保護制度の適正運用

委員 ●生活保護受給世帯数に対し、ケースワーカーの数は社会福祉法で定める標準数を下回っている。必要な人員を要求していくべきではないか。

市 ●引き続き要求していく。また、ケースワーカーを補助する嘱託員を配置するなど、組織的な対応ができるような体制づくりも進めていきたい。

委員 ●正規職員を一気に増やすことが難しいのであれば、再任用職員等の人生経験が豊富な方にケースワーカーをしてもらう方法もあるのではないかと。

市 ●標準数を実現できる方策を関係部局とも協議していきたい。

環境消防水道委員会

■附帯決議を解除

－岡南環境センター敷地を建設候補地とする広域ごみ処理施設整備計画について、問題点を丁寧に見直し、業務の改善に鋭意取り組み、二度とこのようなことがないように委員会として伝え、附帯決議を解除した－

委員 ●地元への説明や理解に努め、議会に逐次報告するなど附帯決議を付していたが、現状は。

市 ●平成31年1月に地元町内会長を対象に説明会を行った。今後、地元住民への周知を図るため、説明会の開催時期、場所等を各町内会長と相談していきたい。その後、施設規模、配置計画、スケジュール等をその都度住民に説明し、意見を聞きながら整備計画をまとめていきたい。

経済委員会

■日本遺産活用推進事業

－「桃太郎伝説」のストーリーと構成文化財を活用し、国内外に情報発信するとともに、観光客等の受け入れ体制を整備－

委員 ●岡山駅などで、日本遺産のことが一目でわかる取り組みをしていないのか。

市 ●ももたろう観光センターに日本遺産のパンフレットを置いていますが、今後JRと協議し、岡山駅構内での掲出を図りたい。

委員 ●日本遺産に認定されている他の地域で成功事例があるのなら、どういう形で成功しているのか十分ヒアリングし、本市の取り組みに活かしてもらいたい。

建設委員会

■被災した場所には

31年度早期に雨に備えた対策を－関係機関との協議や地元調整に不測の日数を要したため、道路や河川施設等の災害復旧の予算を平成30年度から31年度に繰り越す－

委員 ●31年度の早期に工事が完了するのか。

市 ●出水期までには復旧を目指しているが、大規模な工事や用地処理などが伴うものは、出水期までの完工が難しい場合もある。速やかに復旧するよう作業を進める。

委員 ●復旧工事が完了していても、雨に備えた対策を十分に講じてほしい。

市民文教委員会

■特別支援教育支援員を減員せず学校生活をサポート

委員 ●平成31年度は、30年度と比較して特別支援教育支援員が16人減っているが、理由は。

市 ●国の補助対象から外れたことと、特別支援学級の増加に伴い教員を増やすということを含めて総合的に判断した。

委員 ●先生と生徒を支援する特別支援教育支援員の存在は現場にとって代え難いものであり、代替案もないまま減員するのは納得できない。

市 ●予算執行状況を勘案しながら、必要に応じて非常勤講師を配置するなど工夫し、30年度と同人数の配置ができるよう努力したい。